

平成29年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 前川 和 弘

○ 平成29年度重要事業

事業名	防火対策の推進
目 標	<p>昨年は、近年減少傾向であった火災発生件数が20件と過去10年間の平均17件を上回り増加しました。また、年末の糸魚川市の火災を教訓に市内の消防関係団体が連携し、各種防火対策を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置徹底、適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進を図ります。</p>
進捗状況	<p>火災件数は、昨年同期より減少しており、住民の皆様の防火意識の向上に感謝します。また、消防関係者による広報や防火対策も減少につながったものと思われます。</p> <p>住宅用火災警報器の設置率は82.0%(H29.6.1 現在)と未設置の住宅へ設置が進まない状況です。</p>
今後の対応	<p>引き続き、火災を発生させないように防火指導を進めるとともに、住宅用火災警報器の点検の実施や本体の交換を推奨するなど、適切な維持管理について働きかけます。</p>

事業名	救急・救助体制の充実
目 標	<p>救急救命士の常時2名乗車を目指し、救急救命士の増員を図るとともに、救急隊員の養成及び隊員の知識、技能を高め、救急隊としてのチーム力の向上を図ります。</p> <p>また、多発する地震や自然災害等に対して消防隊及び救助隊員の技術の習得や災害対応力向上にも万全を期して取り組みます。</p>
進捗状況	<p>職員採用に中級職の救急救命士を3名採用するとともに、現職員1名の内部養成も行っています。</p> <p>消防隊及び救助隊、救急隊は各種所属内訓練を実施し技術の向上に努めています。</p>
今後の対応	<p>救急・救助体制の充実は、消防職員全体のレベルアップを図るとともに、継続的に訓練を実施し災害対応能力向上に努めます。</p>

事業名	消防力の維持・強化
目 標	<p>消防力の維持・強化を図るため、職員の知識・技術の向上、消防施設・資機材の整備を進めるとともに、消防の広域連携体制の充実強化を図ります。</p> <p>また、消防団は昨年の機能別消防団員を更に拡充し、学生の消防団加入促進に向けた取組を実施します。</p>
進捗状況	<p>老朽化した車両を計画的に更新するとともに、耐震診断により不備指摘のあった消防施設の改築及び補修に努めています。</p>

	また、7月1日から新たに学生消防団員7名が加入し消防団員の充実に努めました。
今後の対応	昨年の糸魚川市における大火を教訓に、地元消防団や隣接の消防関係機関等による協力体制及び広域応援体制の充実強化に努めます。